



2021年6月21日
株式会社 阿波銀行

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同表明について

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD※）」提言への賛同を表明しましたので、お知らせいたします。

当行は2009年6月に「環境方針」を制定・公表し、2019年4月には「あわぎん SDGs 取組方針」の項目として「環境保全」を掲げ、環境保護に寄与する金融商品・サービスの提供や森づくり活動等、銀行業務と地域貢献活動の両面から持続可能な地域社会の構築と地域活性化へ取組んでまいりました。

一方、徳島県では毎年台風による被害が発生し、近年では全国的にも記録的な大雨による豪雨災害が発生しています。気候変動は世界共通の課題であり、お客さまや当行の経営基盤に与える影響は徐々に大きくなっています。

こうした状況を踏まえ、当行は、環境、気候変動への対応を重要課題と捉え、気候変動がお客さまや当行に及ぼすリスクに対応しながら、脱炭素社会の実現に貢献していくため、今後、TCFD 提言に則った情報開示に向けて取組んでまいります。

当行は、今後とも社会・環境課題の解決に向けた取組みを一層強化し、地域のすべての人が安心して生活できる持続可能な社会の実現をめざしてまいります。

※TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）とは

2015年に金融安定理事会（FSB）の下に設置された、金融市場の安定化（十分な情報開示による効率的な資本配分）の観点から、企業の気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する国際的な支援組織。TCFD の最終報告書（提言）では、気候変動は世界経済にとって重大なリスクであるとし、企業に対して「ガバナンス」「経営戦略」「リスク管理」「指標と目標」について把握し、情報開示することを推奨している。

